

2025年度リンゴ・落葉果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会 技術部

2025年度リンゴ・落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、2026年2月2日(月)にMicrosoft Teamsを用いたWeb会議において開催された。

この検討会には、試験場関係者61名、委託関係者21名ほか、計95名の参集を得て、リンゴ関係除草剤5薬剤(11

点)、展着剤1薬剤(2点)、落葉果樹関係除草剤5薬剤(30点)、生育調節剤3剤(33点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果については、次の表に示す通りである。

2025年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [TAC普及会]	リンゴ	生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)	実・継	実) [リンゴ:雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・一年生雑草対象; 250～500mL<散布水量25～100L>/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL<散布水量50～100L>/10a ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 注) ・散布水量25～50L/10aは専用ノズルを使用する 継) ・効果・葉害の確認(多年生雑草, 25L/10a)
	リンゴ	生育期の多年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(水量25L/10aへの拡大 1年目)		
2. BCH-241 フロアブル インダジフラム:19.1% [バイエルクロップサイ エンス]	リンゴ	リンゴにおける発生前の一年生雑草を対象とした土壌処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(2年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
3. BCH-253 フロアブル イカホリンメチル:18.6% (2025/6/13公開) [バイエルクロップサイ エンス]	リンゴ	リンゴにおける生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
4. NC-666 乳 キザロホップエチ ル:3.5% [日産化学]	リンゴ	リンゴにおける生育期のイネ科雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(2年目)	継	継) ・効果・葉害の確認
5. SDI-2501 液 ジクワットジプロミ ド:20% [Sharda Cropchem Ltd.]	リンゴ	リンゴにおける生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(適用性初年目)	継	継) ・効果・葉害の確認

B. 2024年度 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. BCH-241 フロアブル インダジフラム:19.1% [バイエルクロップサイ エンス]	リンゴ	葉害の確認	上記参 照	

C. 展着剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい・試験設計 等	判定	判定内容
1. AKD-9165 展着 ポリオキシエチレンアル キルエーテル:10.0% [アグロ カネショウ]	リンゴ (ふじ)	サニデイへの本剤加用による摘花効 果の検討 展着剤加用による影響の確認(薬効安 定化, 薬害影響)	—	(展着剤)

2025 年度落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験 判定結果

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピ ルアミン塩:41% [TAC普及会]	ブドウ	生育期の一年生雑草を対象とした茎 葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の 検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)	実	実) [ブドウ:雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・一年生雑草対象; 250～500mL<散布水量25～100L>/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL<散布水量25～100L>/10a ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 注) ・散布水量25～50L/10aは専用ノズルを使用する
	ブドウ	生育期の多年生雑草を対象とした茎 葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の 検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)		
	ナシ	生育期の多年生雑草を対象とした茎 葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の 検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)	実・継	実) [ナシ:雑草全般(スギナを除く)] ・春～夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下) ・一年生雑草対象; 250～500mL<散布水量50～100L>/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL<散布水量50～100L>/10a ・茎葉処理(樹間・樹冠下) 継) ・効果・薬害の確認(一年生雑草および多年生雑 草, 25L/10a)
	モモ	生育期の一年生雑草を対象とした茎 葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の 検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)	実・継	
	モモ	生育期の多年生雑草を対象とした茎 葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の 検討(水量25L/10aへの拡大 2年目)		
				注) ・散布水量25～50L/10aは専用ノズルを使用する 継) ・効果・薬害の確認(多年生雑草, 25L/10a)
2. BCH-241 フロアブル インダジフラム:19.1% [バイエルクロップサイ エンス]	ナシ	ナシにおける発生前の一年生雑草を 対象とした土壌処理(樹間・樹冠下)に よる適用性の検討(2年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
3. BCH-253 フロアブル イカホリンメチル:18.6% (2025/6/13公開) [バイエルクロップサイ エンス]	ブドウ	ブドウにおける生育期の一年生雑草 を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下) による適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ブドウ	薬害の確認		
	ナシ	ナシにおける生育期の一年生雑草を 対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)に よる適用性の検討(初年目)	継	継) ・効果・薬害の確認
	ナシ	薬害の確認		
	モモ	モモにおける生育期の一年生雑草を 対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)に よる適用性の検討(初年目)	継	
	モモ	薬害の確認		継) ・効果・薬害の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
4. NC-666 乳 キザロホップエチル:3.5% [日産化学]	カキ	カキにおける生育期のイネ科雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(2年目)	継	継) ・効果・被害の確認
	モモ	モモにおける生育期のイネ科雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(2年目)	継	継) ・効果・被害の確認
5. SDI-2501 液 ジクワットジプロミド:20% [Sharda Cropchem Ltd.]	ブドウ	ブドウにおける生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(適用性初年目)	継	継) ・効果・被害の確認
	ナシ	ナシにおける生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(適用性初年目)	継	継) ・効果・被害の確認
	モモ	モモにおける生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(適用性初年目)	継	継) ・効果・被害の確認

B. 2024 年度 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. AK-01 液 グリホサートイソプロピルアミン塩:41% [TAC普及会]	ナシ	生育期の一年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(水量25L/10aへの拡大初年目)	上記参照	
	ナシ	生育期の多年生雑草を対象とした茎葉処理(樹間・樹冠下)による適用性の検討(水量25L/10aへの拡大初年目)		
2. BCH-241 フロアブル インダジフラム:19.1% [バイエルクロップサイエンス]	ナシ	被害の確認	上記参照	

C. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
1. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシジン酸と表記) [住友化学]	ブドウ (安芸クイーン)	ブドウ(安芸クイーン)における果粒軟化始期での果房散布による着色促進効果の検討(適用性1年目:処理時期拡大)	実・継	実) [ブドウ(安芸クイーン, 巨峰, ピオーネ):着色促進] ・着色始期～着色開始2週間後 ・100～200倍<2～10mL/房を目安> ・果房散布 [ブドウ(クイーンニーナ):着色促進] ・着色始期 ・100～200倍<2～10mL/房を目安> ・果房散布 ・着色開始2週間後 ・100倍<2～10mL/房を目安> ・果房散布 注) ・薬液が果粒につきすぎると果面の汚れや果粉が溶脱する可能性がある 継) ・クイーンニーナ(着色2週間後200倍)における効果・被害の確認 ・果粒軟化始期処理における効果・被害の確認(巨峰, ピオーネ, 安芸クイーン, クイーンニーナ) ・効果・被害の確認(カベルネ・ソービニオン, コトビー, シラー, 高尾, ナガノパープル, BKシードレス, 富士の輝, 藤稔, マスカットベリーA, メルロ, ルビーロマン)
	ブドウ (クイーンニーナ)	ブドウ(クイーンニーナ)における果粒軟化始期での果房散布による着色促進効果の検討(適用性1年目:処理時期拡大)		
	ブドウ (ピオーネ)	ブドウ(ピオーネ)における果粒軟化始期での果房散布による着色促進効果の検討(適用性2年目:処理時期拡大)		
	ブドウ (藤稔)	ブドウ(藤稔)における果粒軟化始期での果房散布による着色促進効果の検討(適用性1年目:品種拡大)		
2. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシジン酸と表記) [愛知県農業総合試験場]	ブドウ (コトビー)	ブドウ(コトビー)における着色始期～2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性:1年目)		
3. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシジン酸と表記) [埼玉県農業技術研究センター(久喜試験場)]	ブドウ (クイーンセブン)	ブドウ(クイーンセブン)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		

C. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
4. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシシン酸と表記) [東京都農林総合研究センター]	ブドウ (高尾)	ブドウ(高尾)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
5. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシシン酸と表記) [佐賀県果樹試験場]	ブドウ (ナガノパープル)	ブドウ(ナガノパープル)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
6. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシシン酸と表記) [国立大学法人九州大学, 群馬県農業技術センター]	ブドウ (BKシードレス)	ブドウ(BKシードレス)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
7. KS-102 液 アブシシン酸:10% (2022年度まではS-アブシシン酸と表記) [山梨県果樹試験場]	ブドウ (カベルネ・ソービニオン)	醸造用ブドウ(カベルネ・ソービニオン)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
	ブドウ (シラー)	醸造用ブドウ(シラー)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
	ブドウ (富士の輝)	ブドウ(富士の輝)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
	ブドウ (マスカットベリーA)	ブドウ(マスカットベリーA)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
	ブドウ (メルロ)	醸造用ブドウ(メルロ)における着色始期～着色開始2週間後での果房散布による着色促進効果の検討(適用性初年目)		
8. NB-27 液 メピコートクロリド 44.0% [日本曹達]	ブドウ (あづましずく)	ブドウ(あづましずく)における満開20～40日後での立ち木全面または枝別散布による新梢伸長抑制効果の検討(適用性:4年目, 500倍<150L>/10aにおける品種拡大)	実・継	実) [ブドウ(安芸クイーン, 巨峰, クイーンルージュ): 新梢伸長抑制] ・満開10～40日後 ・500倍<150L>/10a ・立木全面散布 [ブドウ(あづましずく, クイーンニーナ): 新梢伸長抑制] ・満開10～20日後 ・500倍<150L>/10a ・立木全面散布 [ブドウ(シャインマスカット): 新梢伸長抑制] ・満開10～40日後 ・500倍<150L>/10a, 1000～2000倍<300L>/10a ・満開10～20日後 ・1000倍<150L>/10a ・立木全面散布 [ブドウ(ナガノパープル): 新梢伸長抑制] ・満開10～20日後 ・500倍<150L>/10a ・立木全面散布 [ブドウ(ピオーネ): 新梢伸長抑制] ・満開10～40日後 ・500倍<150L>/10a, 1000倍<300L>/10a ・立木全面散布

C. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	ねらい	判定	判定内容
8. NB-27 液 つづき	ブドウ (クイーンニーナ)	ブドウ(クイーンニーナ)における満開10~40日後での立ち木全面または枝別散布による新梢伸長抑制効果の検討(適用性:3年目, 500倍<150L>/10aにおける品種拡大)		<p>[ブドウ(欧州種):着粒増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・1000~2000倍 <100~150L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(欧州種(シャインマスカットを除く)):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・1000~2000倍 <100~150L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(シャインマスカット):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・500~2000倍 <100~150L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(欧米雑種及び米国種, デラウエアを除く):新梢伸長抑制, 着粒増加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・500~800倍<100~150L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(デラウエア;無核):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・800~1000倍<100~150L>/10a ・立木全面散布 ・1500~2000倍<200~250L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(巨峰;無核):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉8~10枚時 ・500倍<100~150L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(ピオーネ;露地栽培):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・500倍<150L>/10a, 1000倍<300L>/10a ・立木全面散布 <p>[ブドウ(ナガノパープル;露地栽培):新梢伸長抑制]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新梢展開葉7~11枚時 ・1000倍<300L>/10a ・立木全面散布 <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャインマスカットにおける薬量1000倍<150L>/10aでの効果, 薬害の確認(満開40日後での新梢伸長抑制) ・あづましずく, クイーンニーナにおける薬量500倍<150L/10a>での効果, 薬害の確認(満開40日後での新梢伸長抑制) <p>・ナガノパープルにおける薬量1000倍<300L>/10aでの効果, 薬害の確認(新梢展開葉7~11枚時での着粒増加)</p>
9. ジベレリン水溶/KT-30S 液 ジベレリン:3.1% ホルクロルフェニロン:0.10% [住友化学]	ブドウ (シャインマスカット)	ブドウ(シャインマスカット)における花房浸漬および果房浸漬による無種子化の検討(適用性1年目)	実・継	<p>実)</p> <p>[ブドウ(シャインマスカット):無種子化, 果粒密度低減, 果粒肥大促進]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展葉8~9枚→満開10~15日後 ・ジベレリン水溶 25ppm + KT-30S液 3ppm → ジベレリン水溶 25ppm ・花房処理→果房処理 <p>[ブドウ(シャインマスカット):無種子化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展葉6~8枚→満開時~3日後→満開10~15日後 ・ジベレリン12.5ppm+KT-30S 3ppm →ジベレリン25ppm+KT-30S 5ppm →ジベレリン25ppm ・花房処理→果房処理→果房処理 <p>注)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花房処理および果房処理とは, 薬液への浸漬などを指す ・穂軸の徒長を避けるため, 花房処理は花穂先端約5cmとする <p>継)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果・薬害の確認(シャインマスカット, 無種子化:展葉6~8枚→満開3~5日後)
	ブドウ (シャインマスカット)	ブドウ(シャインマスカット)における花房浸漬による無種子化の検討(適用性1年目)		